

# 大人への節目の式にしたい

「新成人に聞きました」

一月九日に勤労福祉センター（エスペランス丸山）で成人式が開かれます。成人式を盛り上げるために集まった「新成人の集い」実行委員会のメンバーに、打ち合わせ会議の場で、思いを聞きました。

「実行委員になった動機は  
「先輩がやって楽しかったと聞いたのでやってみようと思った」  
「友達に誘われて」  
「記念になると思ったので」  
「何事にも挑戦したいので」  
「一生に一度の式なので携わりたかった」

「どんな式（新成人の集い）にしたいですか  
「楽しい式にしたい」  
「みんなの記憶に残る式にしたい」  
「全員が来て良かったと思えるものにしたいたい」  
「久しぶりに会える友達とかもいて自分も楽しみなので、来た人も楽しんでほしい」



「新成人の集い」実行委員会メンバー

「二十歳を迎え、大人といわれる歳になった心境は  
「実感がない」  
「十代と変わらない」  
「まだ子ども」  
「高校を卒業して社会人になったときに責任を自覚したが、二十歳を迎えたからといって変化はない」  
「十歳から二十歳になるまでの十年間はどつでしたか  
「十歳のときは成人した自分を想像出来なかったが、十年間は早かった」  
「小学生、中学生、高校生、大学生と立場がいろいろと変わり、出会い



打ち合わせ会議の様子

と別れの多い十年だった」  
「部活動に打ち込んだ時期で、当時は一日が長く感じていたが、今考えると充実していたと思うし、あっといふ間だった」

「十年後は三十歳を迎えますが、どんな人になっていきたいですか  
「小学校の先生になる夢をかなえていきたい」  
「保育士になって働いていきたい」  
「結婚して、子どもが三人くらいほしい」  
「地域や社会に貢献できる仕事をしたい」  
「言葉や行動に責任を持った大人になりたい」

今年成人式を迎えるのは、平成三年四月二日から平成四年四月一日までに生まれた皆さんです。阿久比町

## 新成人が生まれたときの出来事

平成3年6月	長崎県の雲仙普賢岳で大火砕流が発生
8月	東京で世界陸上選手権大会開催
平成4年2月	アルペールビル冬季五輪開催
3月	東海道新幹線「のぞみ」運行開始

阿久比町では、平成4年3月に阿久比中学校アザレアホールが完成しました。  
平成3年6月には、東部知多温水プールが完成しました。

では、二百十五人が対象となります。今回話を聞かせてくれた実行委員会のメンバーは、十一月から準備を進め、「新成人の集い」に訪れた皆さんが楽しいひとときが過ごせるようにと、学校や仕事が終わった後に集まっています。

まだ学生だったり、既に社会人となっていたりときまざまなメンバーがいます。二十歳を迎えて、いきなり大人の自覚や責任が出てくるものではないと思います。大人と呼ばれる歳になったけど、まだまだ子ども扱いを受けることも多いことでしょう。

実行委員長の紺野駿さんは「成人式を大人となる節目にしたい」と語りました。

町の未来を担う新成人が多く参加し、盛り上がる式になることを期待します。